

大阪市立大学大学院経済学研究科

経済格差研究センター研究員

大西 祥 恵

表1 問1 年齢はおいくつですか

	人数	割合
20歳未満	0	0.0
20-24歳	0	0.0
25-29歳	0	0.0
30-34歳	2	3.6
35-39歳	2	3.6
40-44歳	3	5.4
45-49歳	6	10.7
50-54歳	17	30.4
55-59歳	17	30.4
60-64歳	8	14.3
65-69歳	1	1.8
70-74歳	0	0.0
75歳以上	0	0.0
有効回答者数	56	100.0
不明	0	
合計	56	

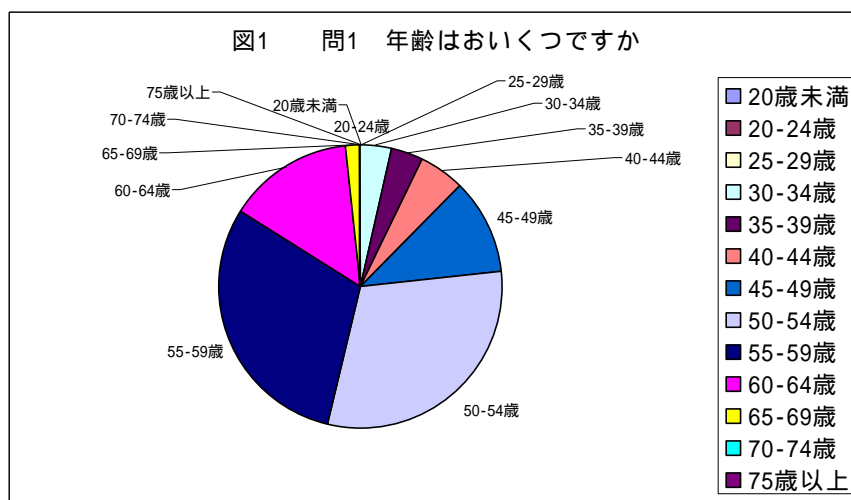
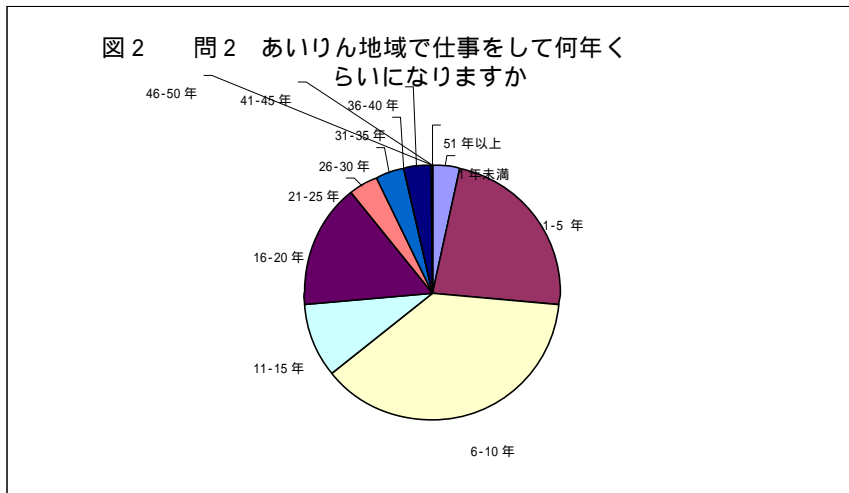


表 1、図 1 は年齢についてみたものである。最も多いのは、「50-54 歳」と「55-59 歳」でそれぞれ 30.4%となっている。つまり、50 歳代の者だけで 6 割を超えているのである。次に多いのが「60-64 歳」で 14.3%、「45-49 歳」で 10.7%となっており、45 歳代以上 65 歳未満の者が 8 割 5 分を超えている。

表 2 問 2 あいりん地域で仕事を
して何年くらいになりますか

年数	人数	割合
1 年未満	2	3.6
1-5 年	13	23.2
6-10 年	21	37.5
11-15 年	5	8.9
16-20 年	9	16.1
21-25 年	2	3.6
26-30 年	2	3.6
31-35 年	0	0.0
36-40 年	2	3.6
41-45 年	0	0.0
46-50 年	0	0.0
51 年以上	0	0.0
有効回答者数	56	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	56	



あいりん地域で仕事をして何年くらいになるかを問うたところ、多かったのは「6-10年」で 37.5%、「1-5年」で 23.2%であった。「失われた10年」といわれているこの10年の間にあいりん地域で仕事をするようになった者が多いとみられる。

また、「16-20年」という者も 16.1%おり、バブル経済の時期にあいりん地域で仕事をするようになった者も一定数見られる。

さらに「36-40年」という者も2人いた。これは、高度成長期後半から第一次オイルショックの時期にあたる。

表3 問3 現在、住んでいるのは、あいりん地域内ですか

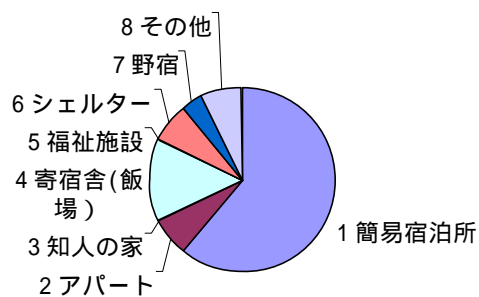
	人数	割合
はい	52	92.9
いいえ	4	7.1
有効回答者数	56	100.0
不明	0	
合計	56	

現在住んでいるのはあいりん地域内かどうかを聞いたところ、92.9%と圧倒的多数が「はい」と答えた。

表4 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか

	人数	割合
1 簡易宿泊所	34	60.7
2 アパート	4	7.1
3 知人の家	0	0.0
4 寄宿舍(飯場)	8	14.3
5 福祉施設	0	0.0
6 シェルター	4	7.1
7 野宿	2	3.6
8 その他	4	7.1
有効回答者数	56	100.0
不明	0	
合計	56	

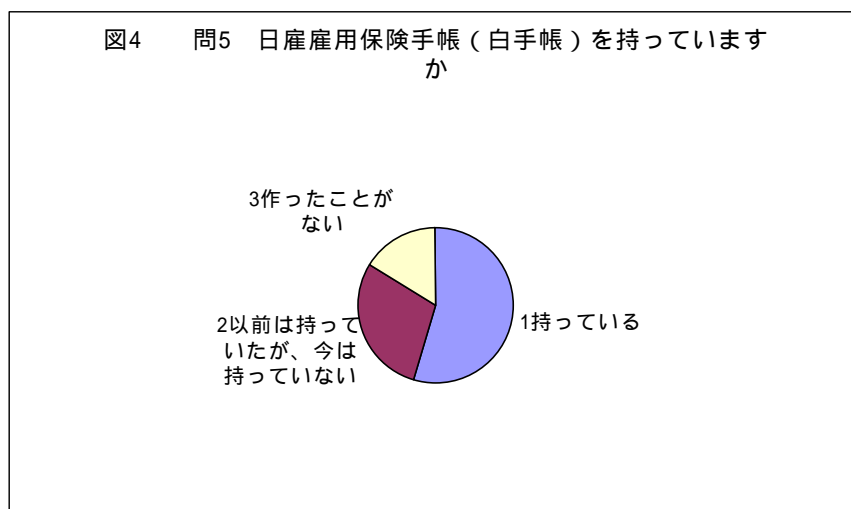
図3 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか



最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りした場所を問うたところ、最も多かったのが「簡易宿泊所」で6割以上を占めた。次に多かったのが、「寄宿舍(飯場)」で8人(14.3%)であり、「アパート」、「シェルター」もそれぞれ4人(7.1%)となっている。

表5 問5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

	人数	割合
1 持っている	30	54.5
2 以前は持っていたが、今は持っていない	16	29.1
3 作ったことがない	9	16.4
有効回答者数	55	100.0
不明	1	
合計	56	



日雇雇用保険手帳(白手帳)の所持について聞いたところ、「持っている」と答えた者が半数以上を占め、「以前は持っていたが、今は持っていない」と答えた者が約3割、「作ったことがない」と答えた者が16.4%となっている。

表6 問5-1 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っている場合の今月の認定資格

	人数	割合
有	20	71.4
無	8	28.6
有効回答者数	28	100.0
不明	2	
非該当	26	
合計	56	

日雇雇用保険手帳(白手帳)を所持していると回答した者に、今月の認定資格の有無を

聞いたところ、「有」が20人(71.4%)、「無」が8人(28.6%)と、今月の認定資格を有している者の方が多数を占めている。

表7 問5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合の今は持っていない理由

	人数	割合
ア アプレ手当てをもらえるほど働けなくなった	2	12.5
イ 印紙を貼ってくれる事業所が減った	4	25.0
ウ 取り上げられた(不正など)	9	56.3
エ その他	1	6.3
有効回答者数	16	100.0
不明	0	
非該当	40	
合計	56	

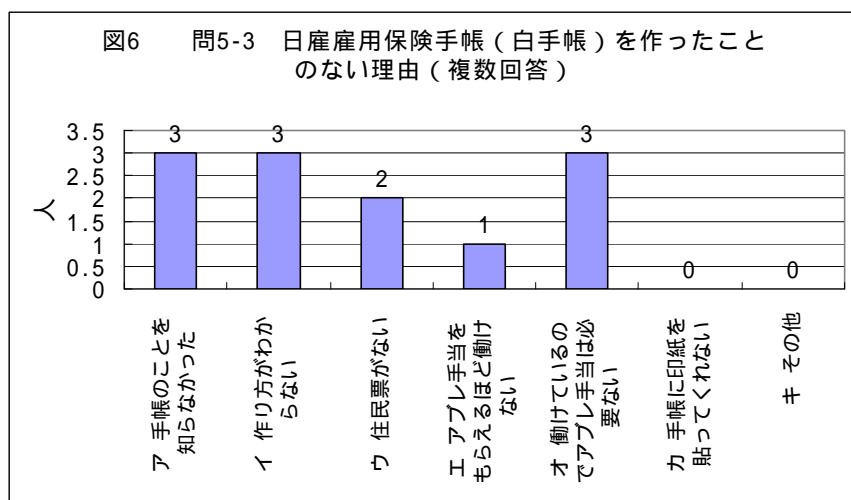
図5 問5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合の今は持っていない理由



日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた者に、今は持っていない理由を聞いたところ、「取り上げられた(不正など)」が半数強を占めた。

表8 問5-3 日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことのない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 手帳のことを知らなかった	3	33.3
イ 作り方がわからない	3	33.3
ウ 住民票がない	2	22.2
エ アプレ手当をもらえるほど働けない	1	11.1
オ 働けているのでアプレ手当は必要ない	3	33.3
カ 手帳に印紙を貼ってくれない	0	0.0
キ その他	0	0.0
有効回答数	12	133.3
有効回答者数	9	
不明	0	
合計	9	



また、日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことがないと回答した者に対して、作ったことのない理由を問うたところ、「手帳のことを知らなかった」、「作り方がわからない」、「働けているのでアプレ手当は必要ない」と回答した者が3人で相対的に多かった。

表 9 問 6-1 日雇健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	16	30.2
無	37	69.8
有効回答者数	53	100.0
不明	3	
合計	56	

表 10 問 6-2 建退共手帳に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	6	11.1
無	48	88.9
有効回答者数	54	100.0
不明	2	
合計	56	

表 11 問 6-3 国民健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	10	18.2
無	45	81.8
有効回答者数	55	100.0
不明	1	
合計	56	

表 12 問 6-4 国民年金に加入していますか。(現在)

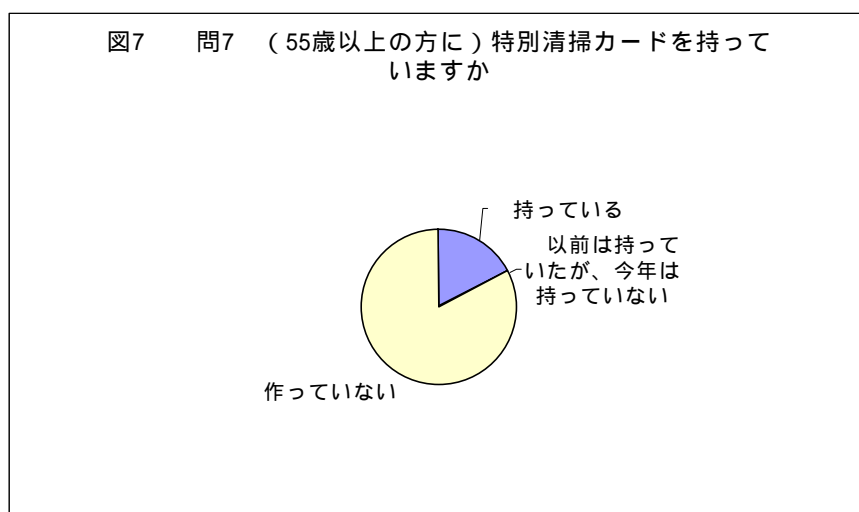
	人数	割合
有	6	11.3
無	47	88.7
有効回答者数	53	100.0
不明	3	
合計	56	

問 6 では、日雇健康保険、建退共手帳、国民健康保険、国民年金への加入状況について質問している(表 9~12)。まず、日雇健康保険については、加入していない者が 37 人(69.8%)で 7 割近くに上っている。建退共手帳については、加入していない者が 48 人

(88.9%)で、実に9割近くの者が加入していない。また、国民健康保険については、加入していない者が45人(81.8%)で8割近くに上っている。さらに、国民年金については加入していない者が47人(88.7%)となっており、9割近くが加入していない。いずれの制度についても、加入していない者が多数に上っているといえる。

表 13 問7 (55歳以上の方に)特別清掃カードを持っていますか。

	人数	割合
持っている	4	17.4
以前は持っていたが、今年を持っていない	0	0.0
作っていない	19	82.6
有効回答者数	23	100.0
不明	3	
非該当	30	
合計	56	



特別清掃カードを有しているかどうかについて聞いたところ、55歳以上の者23人のうち、「作っていない」と回答した者が19人と8割以上を占めた。

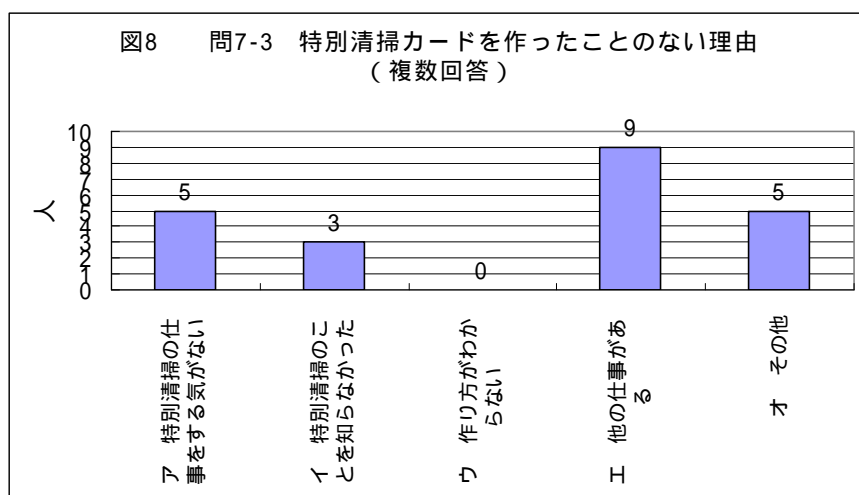
表 14 問 7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

	人数	割合
ア いつも来る	1	33.3
イ たまに	1	33.3
ウ めったに来ない	1	33.3
有効回答者数	3	100.0
不明	1	
合計	4	

特別清掃カードを持っていると回答した者 4 人のうち、「不明」の者 1 人を除き、輪番への参加状況を聞いたところ、「いつも来る」、「たまに」、「めったに来ない」と回答した者が 1 人ずつとなっていた。

表 15 問 7-3 特別清掃カードを作ったことのない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 特別清掃の仕事をする気がない	5	26.3
イ 特別清掃のことを知らなかった	3	15.8
ウ 作り方がわからない	0	0.0
エ 他の仕事がある	9	47.4
オ その他	5	26.3
有効回答数	22	115.8
有効回答者数	19	
不明	0	
合計	19	



また、特別清掃カードを作ったことがないと回答した者 22 人に、その理由を問うたところ、「他の仕事がある」と答えた者が 9 人と半数弱を占めた。「特別清掃の仕事をしない」と答えた者も 5 人みられた。

表 16 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008 年 9 月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	9	17.0
1-5 日	6	11.3
6-10 日	9	17.0
11-15 日	13	24.5
16-20 日	10	18.9
21-25 日	6	11.3
26 日以上	0	0.0
有効回答者数	53	100.0
不明	2	
非該当	1	
合計	56	

図9 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年9月の現金と契約で仕事をした日の合計】

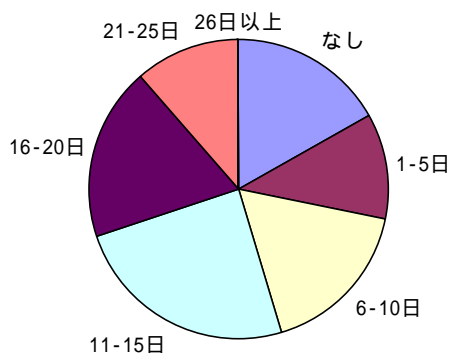


表 16、図 9 は、2008 年 9 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「11-15 日」と回答した者が最も多く 4 分の 1 程度を占めている。ただし、他の日数を回答した者もそれぞれ一定数いる。また、「なし」と回答した者が 9 人（17.0%）存在している。

表 17 【2008 年 9 月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	7	13.7
1-5 万円台	7	13.7
6-10 万円台	10	19.6
11-15 万円台	12	23.5
16-20 万円台	7	13.7
21-25 万円台	7	13.7
26-30 万円台	1	2.0
31 万円以上	0	0.0
有効回答者数	51	100.0
不明	4	
非該当	1	
合計	56	

仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。

図10 問8 直近の仕事の収入はどうでしたか【9月の仕事による収入額】

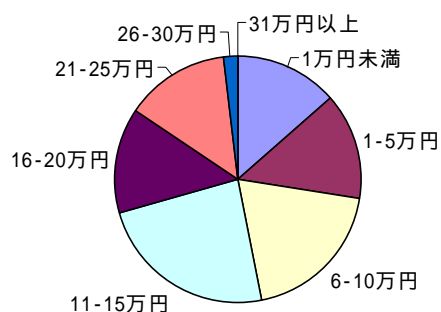


表 17、図 10 は、2008 年 9 月の仕事による収入額について聞いた結果を示したものである。最も多かったのは「11-15 万円台」と回答した者で 12 人（23.5%）と全体の約 4 分の 1 を占めている。次に多かったのは、「6-10 万円」と回答した者で 10 人（19.6%）で 2 割弱を占めている。

表 18 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008 年 10 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	4	7.4
1-5 日	4	7.4
6-10 日	11	20.4
11-15 日	12	22.2
16-20 日	11	20.4
21-25 日	10	18.5
26 日以上	2	3.7
有効回答者数	54	100.0
不明	2	
非該当	0	
合計	56	

図11 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年10月の現金と契約で仕事をした日の合計】

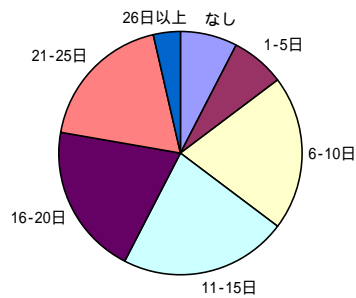


表 18、図 11 は、2008 年 10 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「6-10 日」、「16-20 日」と回答した者が最も多く、いずれも 11 人（22.2%）を占めている。ただし、他の日数を回答した者もそれぞれ一定数いる。また、「なし」と回答した者は 4 人（7.4%）存在している。

表 19 【10月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	4	7.7
1-5 万円	6	11.5
6-10 万円	12	23.1
11-15 万円	9	17.3
16-20 万円	9	17.3
21-25 万円	11	21.2
26-30 万円	1	1.9
31 万円以上	0	0.0
有効回答者数	52	100.0
不明	4	
非該当	0	
合計	56	

仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。

図12 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【10月の仕事による収入額】

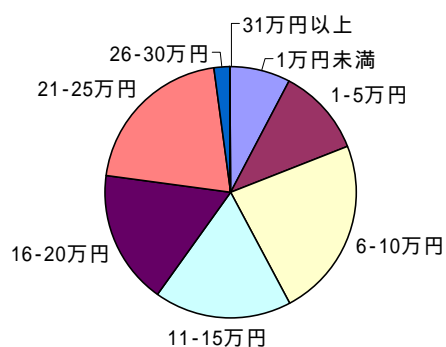


表 19、図 12 は、2008 年 10 月の仕事による収入額について聞いた結果を示したものである。とくに多かったのは「6-10 万円台」、「21-25 万円台」回答した者で、それぞれ 12 人（23.1%）、11 人（21.2%）を占めている。

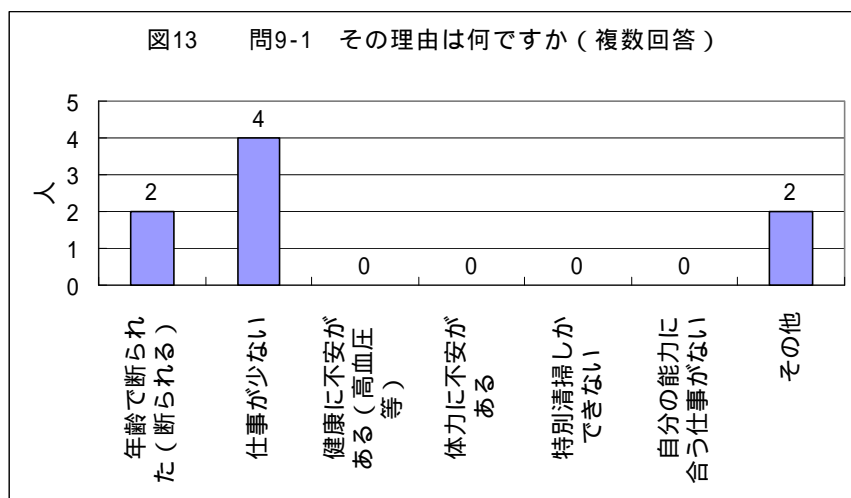
表 20 問 9 9 月、10 月に現金や契約で仕事をしていない理由は何ですか

	人数	割合
仕事を探したが見つからなかった	6	100.0
仕事を全く探していない	0	0.0
有効回答者数	6	100.0
不明	6	
非該当	44	
合計	56	

9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、仕事のいずれにおいても仕事をしていない者 6 人に対して、その理由を聞いたところ、全員が「仕事を探したが見つからなかった」と回答した。

表 21 問 9-1 その理由は何ですか(複数回答)

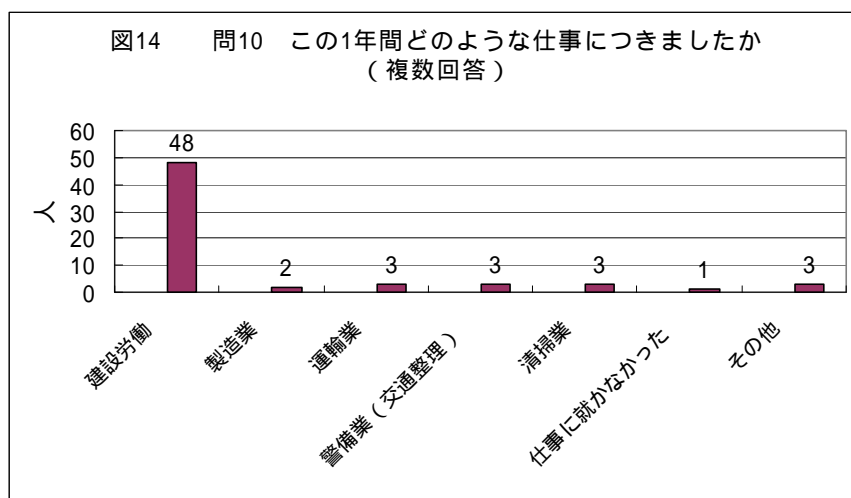
	人数	割合
年齢で断られた(断られる)	2	40.0
仕事が少ない	4	80.0
健康に不安がある(高血圧等)	0	0.0
体力に不安がある	0	0.0
特別清掃しかできない	0	0.0
自分の能力に合う仕事がない	0	0.0
その他	2	40.0
有効回答数	8	160.0
有効回答者数	5	
不明	7	
非該当	44	
合計	56	



9月、10月の2ヵ月間に現金、仕事のいずれにおいても、「仕事を探したが見つからなかった」と回答した6人に対して、その理由について問うたところ、「仕事が少ない」、「年齢で断られた(断られる)」などの回答がみられた。

表 22 問 10 この1年間どのような仕事につきましたか(複数回答)

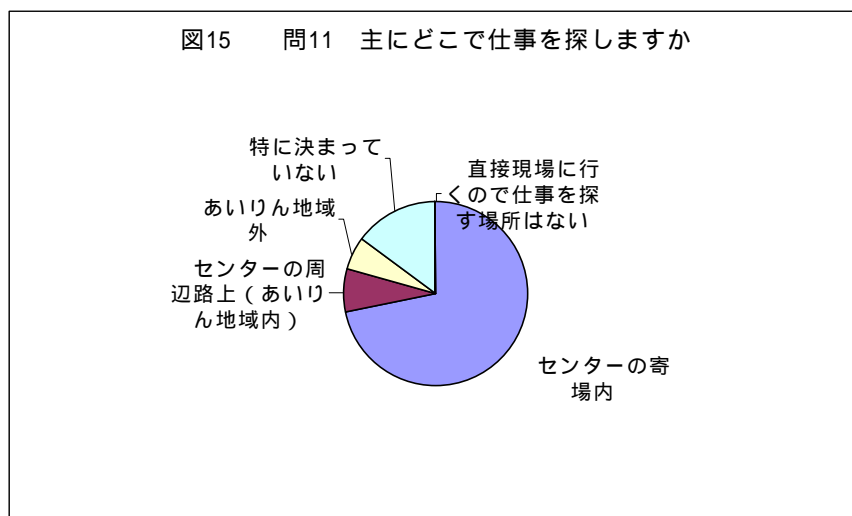
	人数	割合
建設労働	48	88.9
土工	39	72.2
とび工	3	5.6
鉄筋工	2	3.7
型枠大工	1	1.9
解体工	13	24.1
職長	0	0.0
その他職人	6	11.1
不明	1	1.9
製造業	2	3.7
運輸業	3	5.6
警備業(交通整理)	3	5.6
清掃業	3	5.6
仕事に就かなかった	1	1.9
その他	3	5.6
有効回答数	63	116.7
有効回答者数	54	
不明	2	
非該当	0	
合計	56	



この1年間にどのような仕事についたかを複数回答で聞いたところ、「建設労働」が9割近くと圧倒的多数を占めた。「建設労働」の内訳について回答した者においては、「土工」が最も多く、それに「解体工」が続いている。

表 23 問 11 主にどこで仕事を探しますか

	人数	割合
センターの寄場内	38	71.7
センターの周辺路上(あいりん地域内)	4	7.5
あいりん地域外	3	5.7
特に決まっていない	8	15.1
直接現場に行くので仕事を探す場所はない	0	0.0
有効回答者数	53	100.0
不明	3	
非該当	0	
合計	56	

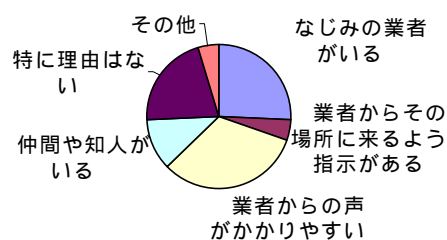


主にどこで仕事を探しているかを聞いたところ、「センターの寄場内」と回答した者が7割を超え多数を占めた。また「特に決まっていない」と回答した者も1割5分ほどみられた。

表 24 問 11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

	人数	割合
なじみの業者がいる	11	25.6
業者からその場所に来るよう指示がある	2	4.7
業者からの声がかかりやすい	14	32.6
仲間や知人がいる	5	11.6
特に理由はない	9	20.9
その他	2	4.7
有効回答者数	43	100.0
不明	5	
非該当	8	
合計	56	

図16 問11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか



主に仕事を探している場所が決まっている者のうち、その場所を選んだ理由について聞いたところ、「業者からの声がかかりやすい」と回答した者が3割を超えた。また「なじみの業者がいる」、「特に理由はない」が約2割5分、約2割で続いている。

なお、主に仕事を探している場所が決まっている者の多くは、「センターの寄場内」で仕事を探している者である。

表 25 問 11-2 その場所へは、定期的に行っていますか

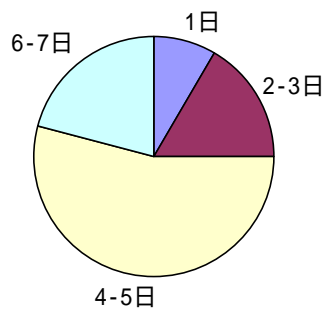
	人数	割合
はい	30	66.7
いいえ	15	33.3
有効回答者数	45	100.0
不明	3	
非該当	8	
合計	56	

主に仕事を探している場所が決まっている者のうち、そこへ定期的に行っているかどうかを聞いたところ、「はい」と回答した者が30人(66.7%)を占めていた。

表 26 問 11-2 その場所へ定期的に行っている日数(1週間に日)

	人数	割合
1日	2	8.3
2-3日	4	16.7
4-5日	13	54.2
6-7日	5	20.8
有効回答者数	24	100.0
不明	6	
非該当	26	
合計	56	

図17 問11-2 その場所へ定期的に行っている日数(1週間に日)



主に仕事を探す場所が決まっている者のうち、その場所へ定期的に行っている場合、その日数を聞いたところ、1週間あたり「4-5日」と回答した者が半数を超えた。また次に多いのが「6-7日」と回答した者で2割を超えていることから、1週間の半数以上、その場所へ行っている者が多いことがわかる。

表 27 問 12 なじみの事業所(よく行く働き先)はありますか

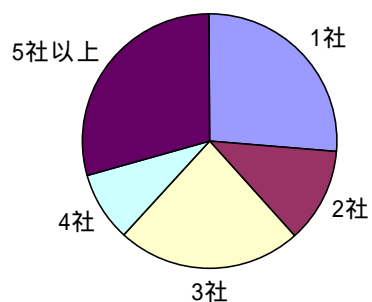
	人数	割合
ある	38	70.4
ない	16	29.6
有効回答者数	54	100.0
不明	2	
合計	56	

なじみの事業所の有無について聞いたところ、「ある」と回答した者が38人と7割を超えている。

表 28 問 12 なじみの事業所(よく行く働き先)がある場合の事業所数

	人数	割合
1社	9	26.5
2社	4	11.8
3社	8	23.5
4社	3	8.8
5社以上	10	29.4
有効回答者数	34	100.0
不明	4	
非該当	18	
合計	56	

図18 問12 なじみの事業所（よく行く働き先）がある場合の事業所数

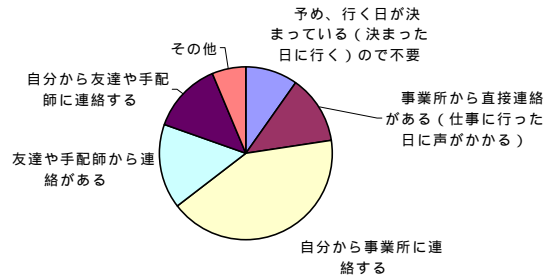


なじみの事業所があると回答した者に、その数を聞いたところ、「5社以上」、「1社」、「3社」と回答した者が、2～3割を超えていた。

表29 問12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか

	人数	割合
予め、行く日が決まっている(決まった日に行く)ので不要	3	9.7
事業所から直接連絡がある(仕事に行った日に声がかかる)	4	12.9
自分から事業所に連絡する	13	41.9
友達や手配師から連絡がある	5	16.1
自分から友達や手配師に連絡する	4	12.9
その他	2	6.5
有効回答者数	31	100.0
不明	7	
非該当	18	
合計	56	

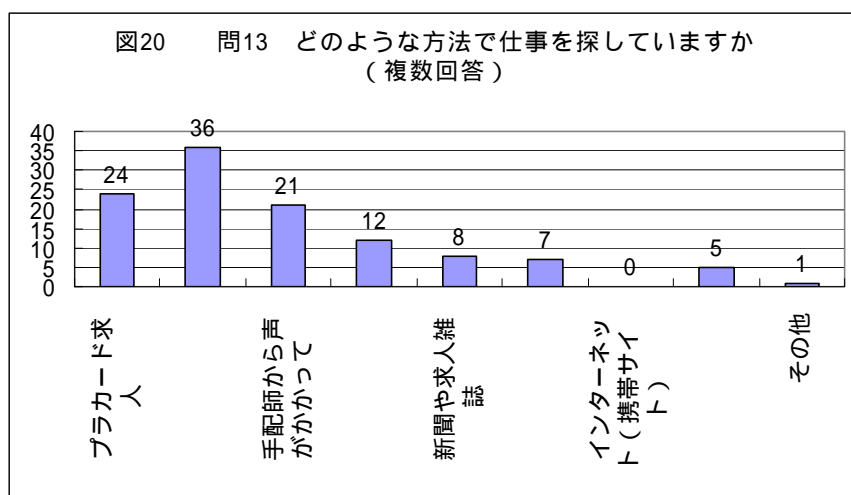
問19 問12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか



さらに、その事業所に行くことはどうやって決めるかを聞いたところ、「自分から事業所に連絡する」と回答した者が4割を超え、一定数を占めていた。また、「友達や手配師から連絡がある」、「事業所から直接連絡がある（仕事に行った日に声がかかる）」、「自分から友達や手配師に連絡する」も1割を超えていた。

表30 問13 どのような方法で仕事を探していますか
(複数回答)

	人数	割合
ブラカード求人	24	45.3
センターの窓口	36	67.9
手配師から声がかかって	21	39.6
業者に連絡をとる	12	22.6
新聞や求人雑誌	8	15.1
友達の紹介	7	13.2
インターネット(携帯サイト)	0	0.0
職安	5	9.4
その他	1	1.9
有効回答数	114	215.1
有効回答者数	53	
不明	2	
非該当	1	
合計	56	



どのような方法で仕事を探しているかを複数回答で聞いたところ、「センターの窓口求人」と回答した者が 36 人(67.9%)で最も多かった。次に多かったのは「プラカード求人」と回答した者で 24 人(45.3%)、「手配師から声がかかって」と回答した者で 21 人(39.6%)となっており、センターやセンター周辺で仕事を探している者が多いことがわかる。

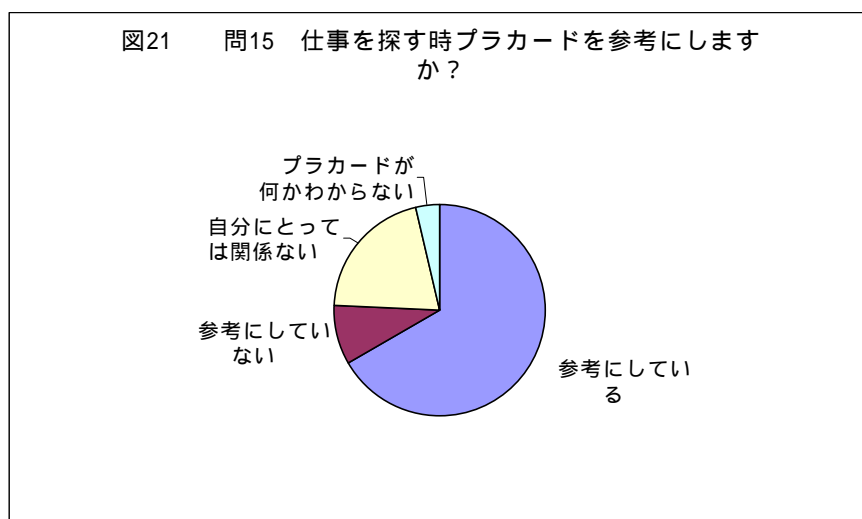
表 31 問 14 携帯電話で仕事探しをしたり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがありますか

	人数	割合
ある	25	46.3
ない(携帯電話を持っていない)	29	53.7
有効回答者数	54	100.0
不明	2	
合計	56	

携帯電話で仕事を探したり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがあるかどうかを聞いたところ、「ある」と回答した者が 25 人(46.3%)、「ない(携帯電話を持っていない)」と回答した者が 29 人(53.7%)となっており、半数弱は携帯電話で仕事を探したり、携帯電話で仕事の連絡をしていることがわかる。

表 32 問 15 仕事を探す時ブラカードを参考にしますか？

	人数	割合
参考にしている	36	66.7
参考にしていない	5	9.3
自分にとっては関係ない	11	20.4
ブラカードが何かわからない	2	3.7
有効回答者数	54	100.0
不明	2	
合計	56	



仕事を探す時に、ブラカードを参考にするかどうかを質問したところ、「参考にしている」と回答した者が 36 人（66.7%）で最も多かった。一定数の者がブラカードを参考にしていることがわかる。ただし、「自分にとっては関係ない」とブラカード求人を利用していない者も 2 割程度いる。

表 33 問 15-1-1 プラカードで参考としている点はどのようなことですか？(複数回答)

	人数	割合
事業所名がわかる	16	44.4
現場がわかる	10	27.8
労働条件がわかる	16	44.4
賃金支払など安心できる	21	58.3
印紙があることがわかる	14	38.9
その他	1	2.8
有効回答数	78	216.7
有効回答者数	36	
不明・無回答	2	
非該当	18	
合計	56	

仕事を探す時に、プラカードを参考にしている者に対して、プラカードで参考にしている点はどのようなことかを、複数回答で聞いた結果を示したのが表 33 である。相対的に多かったのは、「賃金支払など安心できる」、「事業所名がわかる」、「労働条件がわかる」と回答した者で、それぞれ 21 人 (58.3%)、16 人 (44.4%)、16 人 (44.4%) と一定数を占めている。

表 34 問 15-1-2 プラカードが参考とならない点はどのようなことですか？(複数回答)

	人数	割合
説明を求めても分からない	2	15.4
現場が違う時がある	7	53.8
手待ちになることがある	6	46.2
その他	3	23.1
有効回答数	18	138.5
有効回答者数	13	
不明・無回答	28	
非該当	15	
合計	56	

仕事を探す時に、プラカードを参考にしている者と、参考にしていない者に対して、プ

ラカードが参考とならない点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 34 である。相対的に多かったのが「現場が違う時がある」、「手待ちになることがある」と回答した者で、それぞれ 7 人、6 人みられた。

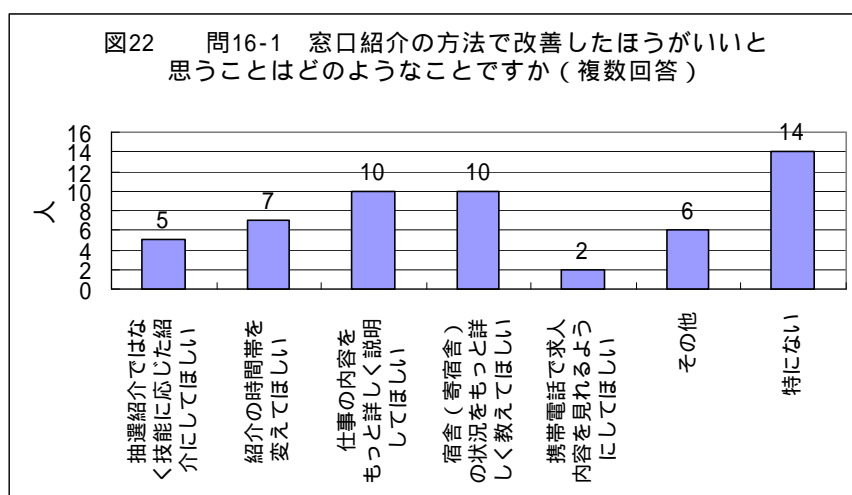
表 35 問 16 西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っていますか

	人数	割合
知っている	53	96.4
知らない	2	3.6
有効回答者数	55	100.0
不明	1	
合計	56	

西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っているかどうかを聞いたところ、「知っている」と回答した者が 53 人（96.4%）と圧倒的多数を占めていた。

表 36 問 16-1 窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか(複数回答)

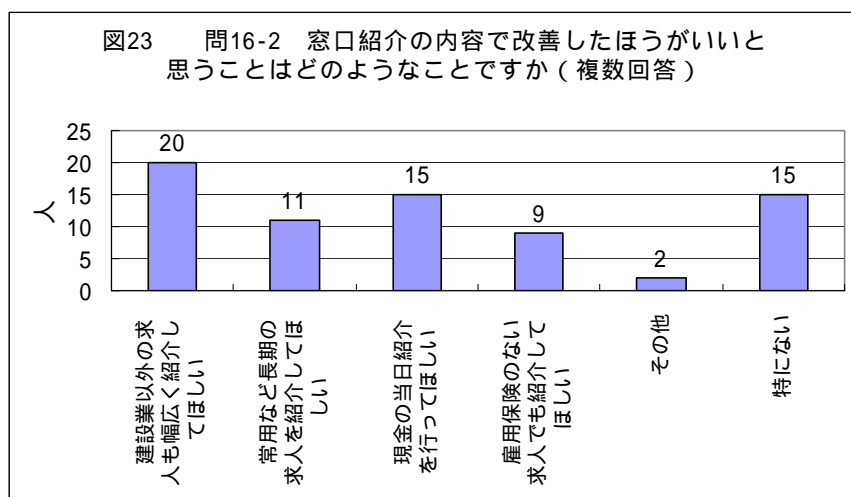
	人数	割合
抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい	5	11.1
紹介の時間帯を変えてほしい	7	15.6
仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい	10	22.2
宿舎(寄宿舍)の状況をもっと詳しく教えてほしい	10	22.2
携帯電話で求人内容を見れるようにしてほしい	2	4.4
その他	6	13.3
特にない	14	31.1
有効回答数	54	120.0
有効回答者数	45	
不明	9	
非該当	2	
合計	56	



西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っている者に対して、窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いたところ、「特にない」が3割を超えて最も多かった。続いて、「仕事の内容をもっと詳しく教えてほしい」、「宿舎(寄宿舎)の状況をもっと詳しく教えてほしい」と回答した者が2割強みられた。

表37 問16-2 窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか(複数回答)

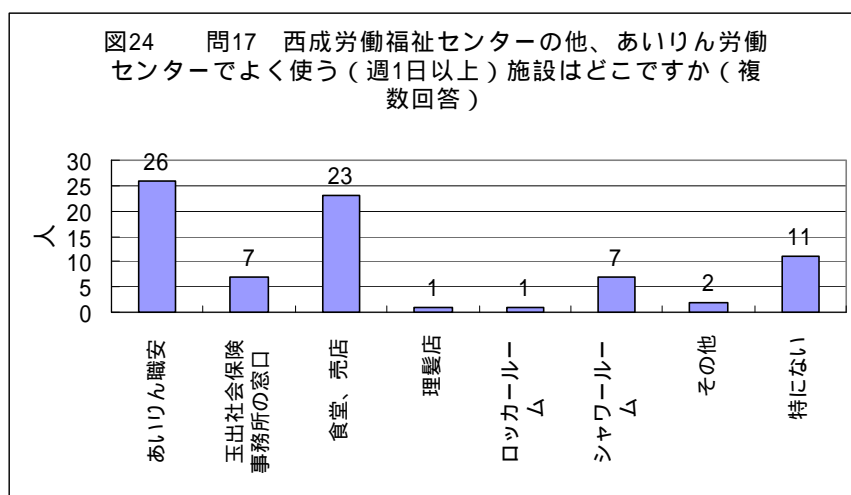
	人数	割合
建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい	20	40.8
常用など長期の求人を紹介してほしい	11	22.4
現金の当日紹介を行ってほしい	15	30.6
雇用保険のない求人でも紹介してほしい	9	18.4
その他	2	4.1
特にない	15	30.6
有効回答数	72	146.9
有効回答者数	49	
不明	5	
非該当	2	
合計	56	



さらに、窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いたところ、「建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい」と回答した者が最多で4割を超えていた。また「現金の当日紹介を行ってほしい」、「特にない」も3割に上っている。

表38 問17 西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う(週1日以上)施設は、どこですか(複数回答)

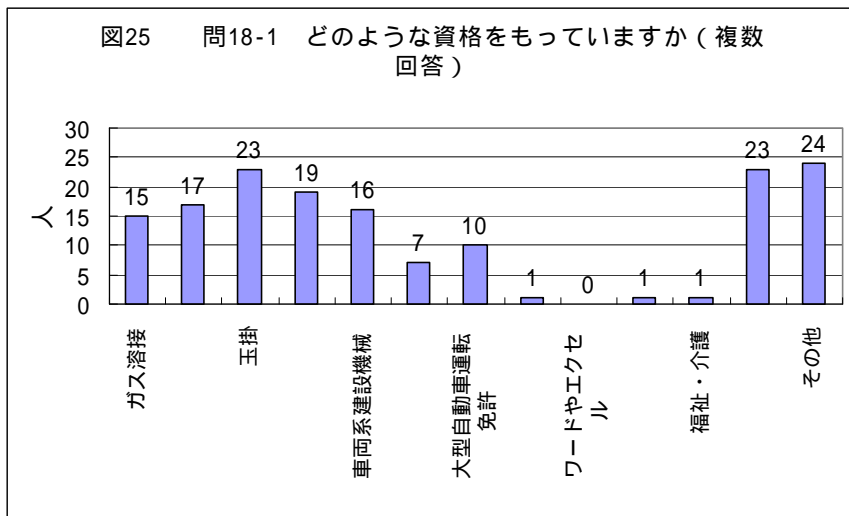
	人数	割合
あいりん職安	26	48.1
玉出社会保険事務所の窓口	7	13.0
食堂、売店	23	42.6
理髪店	1	1.9
ロッカールーム	1	1.9
シャワールーム	7	13.0
その他	2	3.7
特にない	11	20.4
有効回答数	67	124.1
有効回答者数	54	
不明	2	
合計	56	



西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う（週1日以上）施設はどこかを、複数回答で聞いたところ、「あいりん職安」が26人（48.1%）で半数近くを占めていた。また、「食堂、売店」も4割を超えている。

表39 問18-1 どのような資格を持っていますか（複数回答）

	人数	割合
ガス溶接	15	30.6
アーク溶接	17	34.7
玉掛	23	46.9
フォークリフト	19	38.8
車両系建設機械	16	32.7
大型特殊自動車運転免許	7	14.3
大型自動車運転免許	10	20.4
ビルクリーニング	1	2.0
ワードやエクセル	0	0.0
農林水産業関係	1	2.0
福祉・介護	1	2.0
普通運転免許	23	46.9
その他	24	49.0
有効回答数	157	320.4
有効回答者数	49	
不明・無回答	7	
合計	56	

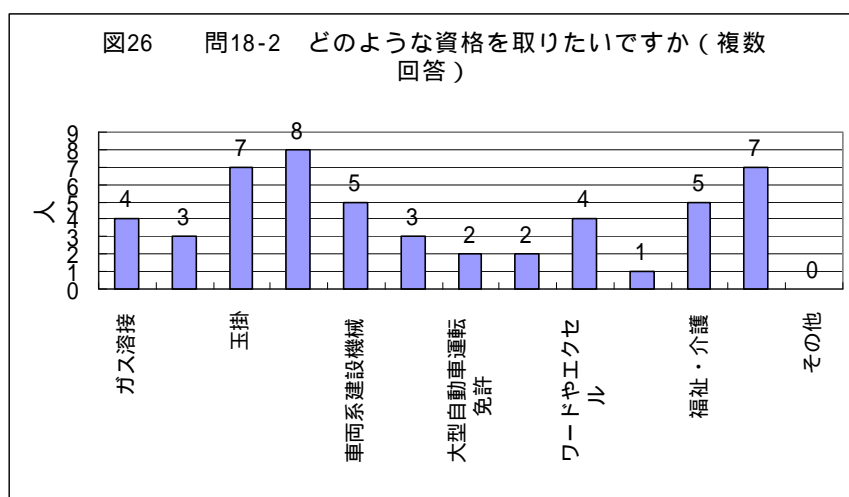


どのような資格を持っているのかを複数回答で聞いたところ、「玉掛」、「普通運転免許」と回答した者がそれぞれ23人（46.9%）と半数近くを占めている。また、「フォークリフト」と回答した者が4割弱、「アーク溶接」、「車両系建設機械」と回答した者も3割を超えている。

一方、資格を有している者が少ないものは、「ワードやエクセル」、「ビルクリーニング」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」であった。

表 40 問 18-2 どのような資格を取りたいですか(複数回答)

	人数	割合
ガス溶接	4	8.2
アーク溶接	3	6.1
玉掛	7	14.3
フォークリフト	8	16.3
車両系建設機械	5	10.2
大型特殊自動車運転免許	3	6.1
大型自動車運転免許	2	4.1
ビルクリーニング	2	4.1
ワードやエクセル	4	8.2
農林水産業関係	1	2.0
福祉・介護	5	10.2
普通運転免許	7	14.3
その他	0	0.0
有効回答数	51	104.1
有効回答者数	49	
不明・無回答	7	
合計	56	

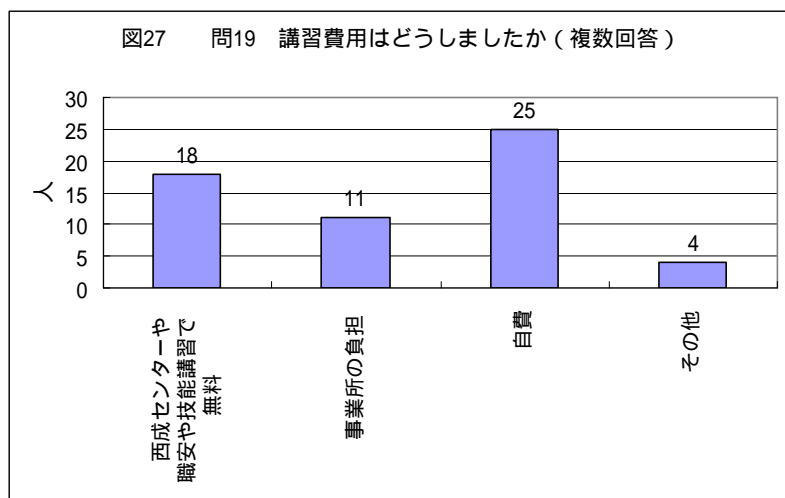


次に、どのような資格を取りたいかについて質問したところ、「フォークリフト」、「玉掛」、「普通運転免許」がそれぞれ 8 人 (16.3%)、7 人 (14.3%)、7 人 (14.3%) となっていた。

一方、実際に取得している者が少なかった資格に関しては、「福祉・介護」、「ワードやエクセル」の資格を取りたいと回答した者がそれぞれ 5 人（10.2%）、4 人（8.2%）みられた。

表 41 問 19 講習費用はどうしましたか(複数回答)

	人数	割合
西成センターや職安や技能講習で無料	18	41.9
事業所の負担	11	25.6
自費	25	58.1
その他	4	9.3
有効回答数	58	134.9
有効回答者数	43	
不明・非該当	13	
合計	56	



前問で何らかの資格を取得していると回答した者に対して、その講習費用をどうしたのかについて複数回答で聞いたところ、「自費」が 25 人（58.1%）と 6 割近くを占めた。次に多かったのが「西成センターや職安や技能講習で無料」で 18 人（41.9%）と 4 割強であった。また、「事業所の負担」も 11 人（25.6%）と一定数を占めている。

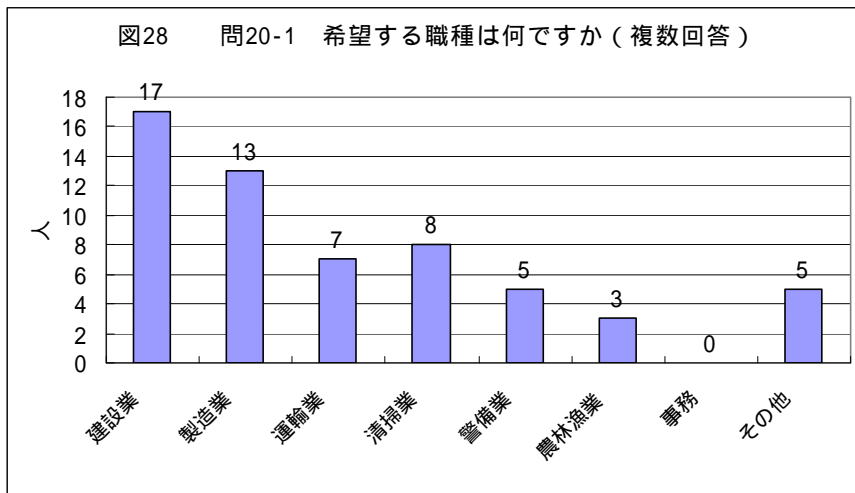
表 42 問 20 会社勤めなど常用の
仕事を希望していますか

	人数	割合
希望している	33	58.9
希望していない	23	41.1
有効回答者数	56	100.0
不明	0	
合計	56	

会社勤めなど常用の仕事を希望しているかどうかについて質問したところ、「希望している」と回答した者が 33 人（58.9%）と 6 割近く、「希望していない」と回答した者が 23 人（41.1%）と 4 割強を占めた。

表 43 問 20-1 希望する職種は
何ですか(複数回答)

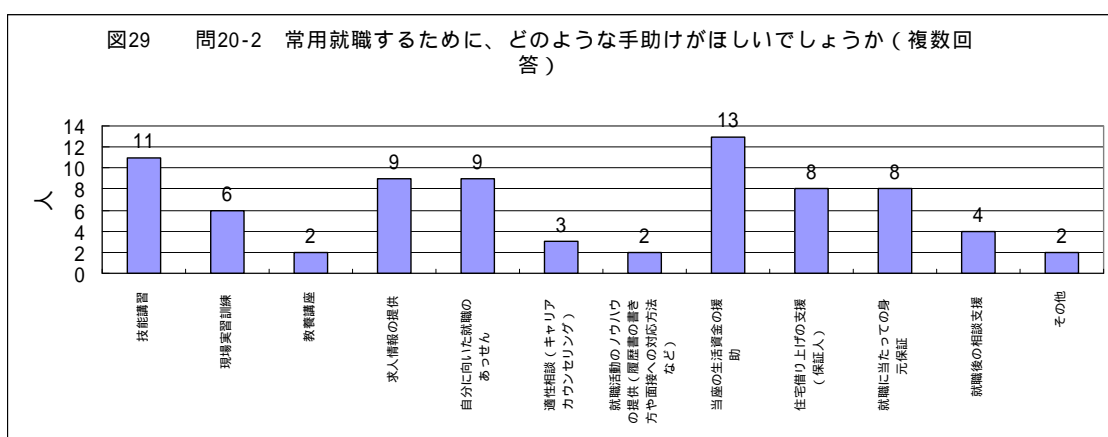
	人数	割合
建設業	17	51.5
製造業	13	39.4
運輸業	7	21.2
清掃業	8	24.2
警備業	5	15.2
農林漁業	3	9.1
事務	0	0.0
その他	5	15.2
有効回答数	58	175.8
有効回答者数	33	
不明	0	
非該当	23	
合計	56	



会社勤めなど常用の仕事を希望していると回答した者に対して、希望する職種を複数回答で聞いたところ、「建設業」と回答した者が最も多く半数強を占めた。「製造業」、「清掃業」、「運輸業」、「警備業」も一定数を占めている。

表 44 問 20-2 常用就職するために、どのような手助けがほしい
 でしょうか(複数回答)

	人数	割合
技能講習	11	35.5
現場実習訓練	6	19.4
教養講座	2	6.5
求人情報の提供	9	29.0
自分に向けた就職のあっせん	9	29.0
適性相談(キャリアカウンセリング)	3	9.7
就職活動のノウハウの提供(履歴書の書き 方や面接への対応方法など)	2	6.5
当座の生活資金の援助	13	41.9
住宅借上げの支援(保証人)	8	25.8
就職に当たっての身元保証	8	25.8
就職後の相談支援	4	12.9
その他	2	6.5
有効回答数	78	251.6
有効回答者数	31	
不明	2	
非該当	23	
合計	56	

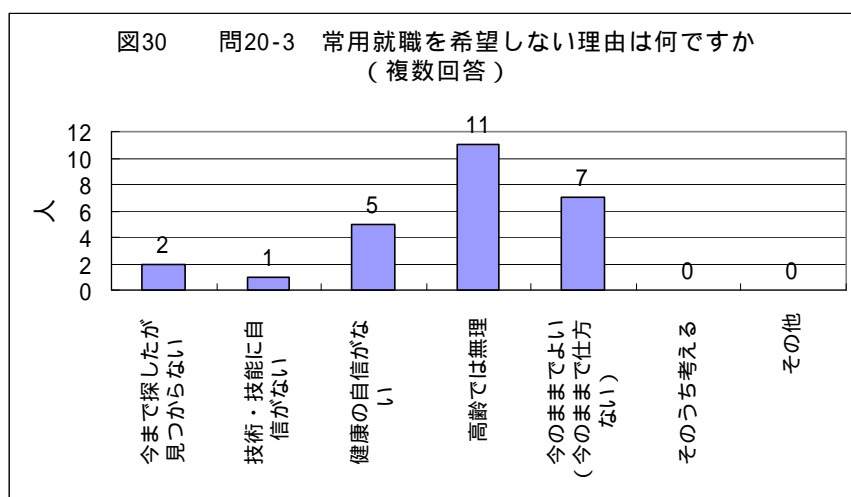


会社勤めなど常用の仕事を希望すると回答した者に対して、常用就職するために、どのような手助けがほしいかを複数回答で聞いたところ、最も多かったのが「当座の生活資金

の援助」で 13 人(41.9%)であった。続いて、「技能講習」と回答した者が 11 人(35.5%)、「求人情報の提供」、「自分に向けた就職のあっせん」と回答した者でそれぞれ 9 人(29.0%)、「住宅借り上げの支援(保証人)」、「就職に当たっての身元保証」と回答した者で 8 人(25.8%)を占めている。

表 45 問 20-3 常用就職を希望しない理由は何ですか(複数回答)

	人数	割合
今まで探したが見つからない	2	9.1
技術・技能に自信がない	1	4.5
健康の自信がない	5	22.7
高齢では無理	11	50.0
今のままでよい(今のままで仕方ない)	7	31.8
そのうち考える	0	0.0
その他	0	0.0
有効回答数	26	118.2
有効回答者数	22	
不明	1	
非該当	33	
合計	56	



会社勤めなど常用の仕事を希望しないと回答したものに対して、常用就職を希望しない理由を複数回答で聞いたところ、「高齢では無理」と回答した者が半数を占めた。次に多かったのが「今のままでよい(今のままで仕方ない)」で 3 割強であった。この「紹介課

窓口来訪者調査」においては、現時点で一定の収入を得ている者がみられたことが関係しているかもしれない。また、「健康の自信がない」と回答した者も5人で2割強みられた。